ミッション達成後……

火花「えっ！　なんなんっスかこれっ!?　なんかすごいっぽいのが使えたっス！」

水崎「説明は後です。とにかく今は急いでいるので、このままついて来てください」

水崎に連れられ学院の中に入る。そして用務員室にあるロッカーを開けると、地下へ続くガラス張りのエレベーターが現れた……。

火花「ええ～～～！　こんなところになんでエレベーターが!?　学校の七不思議にもないっス！」

土野「ここを降りれば拠点に辿り着くのよ～。ほらほら、みんな入って♪」

エレベーターは一部がガラスでできていた。全員が乗り込むと深く深く下降していく。

ガラスの向こうはしばらく黒い壁が続いていたが、突如視界が開け、広い部屋が見えた。そこには大きな機械が並び、白衣の大人たちが忙しなく動き回り、なにかを研究しているらしい。人型のロボットのようなものも歩いている。ほどなくしてエレベーターは止まり、扉が開いた。

風早「わー！　ロボットアニメみたいだ！」

火花「広い部屋っスね！　でもなんかどこかで見たことあるなぁ……」

土野「興味があるなら案内してあげるわよ～」

風早「本当!?　楽しみ！」

水崎「土野さん。報告が先でしょう。無駄話は後にしてください」

土野「ちょっと！　ミシェルって呼んでって
いつも言ってるでしょ」

田草「煩いぞ。研究所では静かにしろ」

威圧感のある声が４人の会話を遮った。その声の主は黒い服の上に白いマントのようなものを羽織った博明学院の田草朱音（たくさあかね）学院長だった。

田草「エポナからあらかたの報告は受けている。こっちのふたりが適合者か」

土野「えぇ。アタシの勘だけど、ふたりとも潜在能力は高いと思うわ～」

水崎「ですが彼らはソラスについてなにも理解していません。ここに置いておくのは危険です」

田草は「そうか」とひと言。それから火花と風早をじっと見つめながらなにか考え込んでいるようだった。

風早「ねぇ、ミシェルさん。さっきから話にある“ソラス”ってなに？」

土野「ソラスは簡単に言えば創造の力ね。火花ちゃんが吸収しちゃった流れ星があるでしょ？　あの星……石は“マナ”って言ってソラスの原動力なの。マナを吸収して強くやりたいことをイメージすると、不思議な力が使えるの～」

風早「へー！　じゃあその不思議な力をソラスって言うんだね！　ぼくも使えるかな？」

土野「そうよ！　風早ちゃん賢いわね～！　なぜかあなたはもうソラスの力を持ってるようだし、使えると思うわ」

水崎「土野さん！　なに勝手に話してるんですか！　機密事項ですよ！」

３人がわいわいとしているなか、田草は火花をじっと見つめ、その後風早にも目を向けてから「水崎、土野」と声をかけた。

田草「アカツキ隊は今、ふたりしか在籍者がいなかったな。新たに２名加えろ」

水崎「田草総司令官！　ですが……っ」

1
2
3
4
5
6
7
8

アカツキ隊は今、ふたりしか在籍者がいなかったな。新たに２名加えろ

水崎が止める間もなく、田草は話を切り奥の部屋へと消えた。

あらあらと笑う土野の横では、火花と風早がきょとんと顔を見合わせていた。

土野「うふふ。ふたりも新人が入るなんて、とんでもないことになっちゃったわね～」

どこか他人事のように土野は朗らかに笑う。

火花「えーとつまり、自分たちもここで働くってことっスか？」

土野「そうね。この組織のことをいろいろ教えてあげるわ」

火花と風早が連れてこられたのは博明学院の地下深くに存在する“対地球外生命体組織 ROGHAINN”だった。ここは遠い宇宙の果てから侵略を企てている、背に羽を持つ生命体“ユル”の対策本部だと土野は言う。

続けて水崎は、地球に降り立ったユルは力の源である“マナ”が体から離れ理性を失い、凶悪な動物の影のような姿に変化すると教えてくれた。

水崎「変化したユルのことを“アニマ”と我々は呼んでいます。倒すべき敵です」

土野「……まぁ、とりあえずは ROGHAINN へようこそ。歓迎するわ！」

水崎「仲間になるからには、戦力になるように鍛えますからね。覚悟してください」

風早「がんばるー！　すぐ強くなっちゃうからね！」

火花「う、うん。よろしくッス！」

Check

田草朱音学院長（総司令官）

幼稚園から大学院まで網羅する一貫校“博明学院”の運営をしている女性。しかしそれは表の顔であり、地球外生命体の侵略から地球を守る組織のトップとして君臨中。そのため常に忙しそうにしている。なにやら誰にも言えない秘密を抱えているらしい……。

サポート AI エポナ

組織に加入できる資質を持った人間を探すために開発されたサポート AI。ROGHAINN のメンバーにはエポナ搭載の端末が支給される。一般的には知られていないが、この世界で広く普及している SNS ツールにエポナの一部機能が使われている。

めぐる市

火花たちが暮らしている街の名前。海に面した国内でも有数の学園都市。市バスはほとんど運行しておらず、AI で管理された路面電車や地下鉄が走っている。しかし西川区だけ地下に ROGHAINN の施設があるため、地下鉄や大規模な地下施設がない。